

資料提供
広報取材依頼

大田市

情報提供日	令和4年6月29日
問い合わせ先	環境生活部 環境政策課（中原 崇之） Tel 0854-83-8069（内線 1152）

『ユウスゲ観察会』の開催について

1、行事名	三瓶山西の原 ユウスゲ観察会
2、目的	生物多様性の普及活動の一環として、観察や体験を通して自然に対する興味関心を高めることを目的に、自然観察会を実施します。
3、開催（実施）期間	令和4年7月9日（土）
4、開催（実施）時間	16:00～18:00
5、開催（実施）場所	三瓶山西の原（大田市三瓶町池田） ※当日が雨の場合でも開催します。ただし、大雨の場合は中止となります。
6、主催	大田市役所 環境生活部 環境政策課
7、行事の内容	（全体の概要、特徴的なものなど） （内容） （1）ユウスゲの説明 （2）西の原における植物の植生状況や保護活動について 講師：大田の自然を守る会 会長 伊藤 宏さん ：三瓶自然館サヒメル 学芸課長 井上雅仁さん
8、特記事項	国立公園「三瓶山」の西の原で、ユリ科の多年草『ユウスゲ』が見頃を迎えています。 その名のとおり夕方にレモン色の花が開き、翌日の午前中に閉じる場所が特徴です。 このユウスゲが見られるのは、地元小学校の児童や「大田の自然を守る会」のメンバーが毎年植栽をして丁寧に保護活動を行ってきた努力の賜物です。 このたび、観察や体験を通して自然に対する興味関心を高めることを目的に、自然観察会を実施いたします。 夕闇に浮かび上がるユウスゲは、ぜひご覧いただきたい特別な光景です。 三瓶山西の原は、国内でも有数のユウスゲ植生地で、現在、8千本が植えてあります。今後、1万本まで植える予定で、面積・本数で日本一のユウスゲ植生地を目指しています。
9、その他	添付資料など

三瓶山西の原 ユウスゲ観察会



ユウスゲ

夕方には開花し翌日の昼には閉じるところが特徴。

以前は山地のそこかしこに生えて花を付けて目立つ植物だったが、近年いわゆる里山植物として急激に減少し絶滅状態となっており、しまねレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に選定されている。

日時

7月9日（土）16:00～18:00

（夜にはユウスゲのライトアップが行われます）

応募〆切 7月7日（木）

要申込

講師

伊藤 宏さん（大田の自然を守る会 会長）

井上 雅仁さん（島根県立三瓶自然館サヒメル 学芸課長）

内容

ユウスゲの観察・希少動植物を守る取組について

定員

50名

参加料 無料

申込方法

裏面申込書よりメール・TEL・FAXにて申込ください。

集合場所

三瓶西の原 山の駅前

服装

長スボン、スニーカー等、雨具（雨天時）、マスク着用

その他

参加者にはユウスゲの苗をプレゼント

雨天の場合も開催しますが、大雨警報等の状況により中止する場合があります。中止の場合は連絡いたしますので連絡先は必ず記入をお願いします。

主催

大田市

大田市役所 環境生活部 環境政策課 行き

TEL 0854-83-8069

FAX 0854-82-6667

メール o-kanky@city.oda.lg.jp

ユウスゲ観察会 参加申込書

フリガナ	
氏 名	
フリガナ	
氏 名	
フリガナ	
氏 名	
フリガナ	
氏 名	
フリガナ	
氏 名	
代表者連絡先 電話番号	— —

ご記入いただいた個人情報は、本事業の目的以外には使用しません。

必要事項をご記入いただきFAXでお申し込みください。

TEL・メールでお申し込みいただく場合は、上記内容をお知らせください。